

令和8年7月8日

## 鳴門市との「環境価値を活用した地域脱炭素の取組に関する連携協定」の締結について

トモニホールディングスグループの徳島大正銀行及びとくぎんトモニリンクアップ株式会社は、鳴門市と業務提携先の株式会社バイウィル（東京都中央区、代表取締役社長：下村 雄一郎）と脱炭素の実現に向けた取組を推進するための連携協定を締結しました。

4者は本連携協定をもとに、J-クレジット<sup>※</sup>をはじめとする各種環境価値に関する情報の共有化、事業の推進等を通じて相互の連携強化を図ることで、地域におけるカーボンニュートラル及びサーキュラーエコノミーの実現に寄与することを目的としています。

なお、鳴門市は令和7年2月に「鳴門市ゼロカーボンシティ」を宣言しており、令和7年9月29日に当行及びとくぎんトモニリンクアップ株式会社と「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定」を締結しています。今回の連携協定は、「2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロ」の実現に向けた事業の加速化を図ることを目的とした取組みです。

当行は引き続き、「人、地域、社会と、ともに成長し続ける銀行」を目指し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

### 記

#### 1. 協定内容

- (1) 環境価値に関する情報・サービス・ノウハウ等の提供
- (2) 環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出
- (3) その他、本協定の目的に資すると当事者が認める事項

#### 2. 協定締結日

令和8年7月7日（火）



(写真左から) とくぎんトモニリンクアップ(株) 代表取締役社長 天野嘉彦、当行 常務取締役 岡道信、鳴門市市長 泉理彦様、(株)バイウィル 執行役員兼環境価値創出本部長 前田哲志様

以上

※J-クレジットとは、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用等、事業者による脱炭素活動により得られたCO<sub>2</sub>等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証したもの。発行されたクレジットは他の企業等に売却することができ、購入者はカーボン・オフセットに活用することができる。